

# スタンフォード大学医学部（米国）

## （１）どのような機関ですか？

- 米国カリフォルニア州のスタンフォード大学は、世界でもトップクラスの学術研究機関であり、人材供給や技術シーズなどの面で、シリコンバレーのベンチャーエコシステムにも大きく寄与していると言われています。
- 同大医学部では、病気が発生する前から正確に予測・予防・治療し、よりプロアクティブでパーソナライズされたケアを提供することで、人々が健康的に生活できることを目指す「プレジジョン・ヘルス」において、バイオメディカル革命をリードすることが、ビジョンとして掲げられています。傘下には、分野別の5つの研究所及び数多くの研究室/プログラムを有しています。

### ここがすごい！

#### ▶ トランスレーショナルリサーチの取組み

研究成果の実用化に積極的に取り組まれており、専門の研究センターや、臨床試験を行うための最先端施設などを有しています。また、「イノベーションプログラム」として、バイオデザインプログラム（医療機器開発）、SPARKプログラム（創薬）、SPADAプログラム（発症予測）など注目度の高い各種プログラムが実施されています。

また、レギュラトリーサイエンスと協働した出口戦略ファーストの独自研究、共同研究、教育・訓練、オープンイノベーションに基づく戦略により創薬・医療機器開発の最適化をミッションとする組織として、同大医学部麻酔科を中心に、“Stanford Laboratory for Drug, Device Development & Regulatory Science (SLDDDRS)”も設置されています。



(引用元) スタンフォード大学医学部Webサイト内“Bench-to-Bedside Research”  
(<http://med.stanford.edu/research/bench-to-bedside-research.html>)

#### <組織概要>

組織名	スタンフォード大学医学部 Stanford University School of Medicine
Webサイト	<a href="http://med.stanford.edu/">http://med.stanford.edu/</a>

## （２）神奈川県との関係は？

- 神奈川県知事がスタンフォード大学を訪問した2014年以降、ライフサイエンス分野での連携が進んでおり、**双方の臨床研究支援拠点間での協働を推進するとともに、「未病産業の国際展開」や「人材育成」における連携をさらに強化するためのMOUを締結**しています。
- このMOUを活かして、日米で**共催シンポジウムや交流セミナーを実施**してきており、神奈川県からも、引き続き**ネットワーキング等のサポートが可能**です。



#### <MOU概要>

MOU締結時期	2016年11月16日（2014年に一般社団法人ライフイノベーション国際協働センターが締結したMOUを拡充し、県が再締結）
MOUの目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 目的： ライフサイエンス分野等での科学技術の発展を促進するとともに、その実用化・産業化に協力して取り組み、日本・米国両地域の発展を目指す。</li> <li>◆ 合意内容： ・「かながわクリニカルリサーチ戦略研究センター」と「スタンフォード医薬品・医療機器開発及びレギュラトリーサイエンスラボラトリー」との協働推進 ・医薬品・医療機器、未病コンセプトに基づく新技術及びサービス、メディカル・イノベーションスクールを含む人材育成における連携・協働の実施</li> </ul>
関連URL	<a href="http://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f531396/p1102344.html">http://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f531396/p1102344.html</a>

### (3) 国外企業（日本企業）への支援はありますか？

- 国外企業に対しては、以下のような支援が提供されています。

a. ワンストップ相談窓口/専門家派遣	b. 規制/制度対応支援	c. 市場情報提供/市場調査支援	d. 現地企業等の紹介・ネットワーキング	e. 現地研究者とのマッチング（共同研究支援）	f. 施設・設備供与
○	○	△	○	○	○
g. 立地支援/税制優遇	h. 支援金/奨励金制度	i. 補助金プログラム	j. その他		
△	-	-	-		

（○：提供あり  
-：提供なし  
△：地域内の他団体が提供）

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

### (4) 国外企業等とどのようなコラボレーションをしていますか？

- 国外企業等とのコラボレーションにおいては、特に、次のようなテーマが重点領域とされています。

a. 再生医療・遺伝子治療	b. 個別化医療	c. バイオテック/創薬	d. ヘルステック/AI活用	e. 低侵襲治療機器	f. 高精度診断機器	g. 計測・分析・評価技術	h. 受託研究・製造・開発	i. 希少疾患	j. がん/悪性新生物
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
k. 感染症	l. 生活習慣病	m. 認知症	n. 生活機能（フレイル予防等）	o. メンタルヘルス・ストレス	p. その他				
○		○		○		（○：特に重視している領域）			

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

#### 例えば…

- 新薬ターゲットの探索やシーズの発掘における協業

川崎市殿町地区の国際戦略拠点キングスカイフロントに開発センターを置く製薬企業が、SLDDDRSとの間で、遺伝子治療薬やDNAワクチンなどの分野における協業の覚書を締結。スタンフォード大学内に研究所を設置し、遺伝子治療薬の研究開発を実施するとともに、新薬ターゲットの探索やシーズの発掘など将来の事業展開に向けての協力体制を構築しています。

※Web等の公開情報及び2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。MOU締結先機関が行ったコラボレーション事例であり、必ずしも神奈川県とのMOUを活用した事例ではない点、ご注意ください。

#### <お問い合わせ先>

神奈川県 政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室 最先端医療産業グループ  
TEL：(045) 285-0187 メール：hcnf.advanced-med@pref.kanagawa.jp